

## 安全データシート (SDS)

作成・改訂：2024 年 04 月 01 日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 グランドバリアロスー7 (GBC-7)  
供給者の会社名 萩原工業株式会社  
担当部門 合成樹脂事業部門 事業推進部 産業資材品質保証課  
住所 〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地  
電話番号 086(444)1233  
推奨用途及び使用上の制限 産業資材

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 本製品は、GHS分類における危険有害性区分に該当しない。  
GHSラベル要素 本製品は、GHS分類における危険有害性区分に該当しない。  
危険性 本製品は危険物に該当しないが、指定数量(3,000Kg)以上では「指定可燃物合成樹脂類その他のもの」に該当するため、火気注意のこと。  
有害性 製品としての情報なし。  
環境影響 野外に露出した場合、鳥等の動物が飲み込み窒息する可能性があるため、廃棄や露出には注意を要す。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 成形品

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 (wt%) | 化学式又は構造式            | 官報公示整理番号 |        | CASNo     |
|----------|----------------|---------------------|----------|--------|-----------|
|          |                |                     | 化審法      | 安衛法    |           |
| ポリプロピレン  | 51~54          | (C3H6) <sub>x</sub> | 6-402    | 整理番号なし | 9003-07-0 |
| ポリエチレン   | 44~46          | (C2H4) <sub>x</sub> | 6-1      | 整理番号なし | 9002-88-4 |
| その他      | < 5            | —                   | 登録済み     | 登録済み   | 有り        |

| 化学物質管理促進法 (PRTTR法) |     |          |                | 労働安全衛生法    |          |                |
|--------------------|-----|----------|----------------|------------|----------|----------------|
| 種別                 | 号   | 指定化学物質名  | 濃度又は濃度範囲 (wt%) | CAS No.    | 通知対象物質名  | 濃度又は濃度範囲 (wt%) |
| 第一種                | 321 | ハナジウム化合物 | 0.1            | 1333-86-4  | カーボンブラック | 0.5~0.8        |
|                    |     |          |                | 14059-33-7 | ハナジウム化合物 | <0.2           |
|                    |     |          |                | 147-14-8   | 銅及びその化合物 | <0.1           |

## 4. 応急措置

製品形状がシート状であり、通常使用の場合は該当しないが、加工により粉砕等を行った場合は以下の処置を行う。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。  
気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。  
皮膚を速やかに洗浄すること。  
気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合 水と石けんで洗うこと。  
気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。  
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い場合は、医師の診断、手当を受けること。  
口をすすぐこと。

## 5. 火災時の措置

消火剤 水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂等。  
使ってはならない消火剤 棒状注水  
火災時の特有の危険有害性 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。  
熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 特有の消火方法               | 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。<br>初期の火災には水（霧状水）、粉末消火器などを用いる。<br>大規模火災の時は、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。<br>周囲の設備などに散水して冷却する。<br>移動可能な製品は速やかに安全な場所に移す。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する。<br>風上から消火する。  |

## 6. 漏出時の措置

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護処置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。<br>溶融物が付着した場合は、大量の水で冷却し、医師の診断を受けること。<br>外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診断を受けること。   |
| 環境に対する注意事項            | 付近の着火源と成りそうな物を速やかに取り除くこと。<br>環境中に放出してはならない。  |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       | 漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。<br>危険でなければ漏れを止める。<br>蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。<br>少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。<br>除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。<br>少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。<br>乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。<br>物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。 |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

|           |  |
|-----------|--|
| 取扱い       |  |
| 技術的対策     | 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。<br>着火源に近づけない。<br>使用前に使用説明書入手すること。<br>全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。<br>取扱い後は手をよく洗うこと。 |
| 安全取扱い注意事項 |  |
| 接触回避      | 「10. 安定性及び反応性」の項を参照。   |
| 保管        |  |
| 安全な保管条件   | 保管場所周辺では火気厳禁とする。<br>直射日光を避け換気の良い屋内で保管する。<br>強酸化剤（ハロゲン、過酸化物等）の近くには保管しない。  |
| 安全な容器包装材料 | 消防法で規定されている容器を使用する。<br>国連輸送法規で規定されている容器を使用する。  |

## 8. ばく露防止及び保護措置

|            |   |
|------------|---|
| 設備対策       | 粉じん又は加熱溶融等で蒸気、ガスが発生する場合は局所排気装置を設置する。<br>装置等に静電気防止処置を行う。 |
| 保護具        |   |
| 呼吸用保護具     | 適切な呼吸器保護具を使用すること。                                       |
| 手の保護具      | 保護手袋を着用すること。  |
| 眼、顔面の保護具   | 保護眼鏡を着用すること。  |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。                               |

## 9. 物理的及び化学的性質

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 物理的状态 |                           |
| 物理状态  | 固体（ポリプロピレン製糸とポリエチレン製糸の織物） |
| 色     | ブラック／グリーン色                |
| 臭い    | ほとんど無臭                    |
| 融点    | 製品としての情報なし                |

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 製品としての情報なし      |
| 可燃性           | 製品としての情報なし      |
| 爆発下限界及び爆発上限界／ | 製品としての情報なし      |
| 可燃限界          | 製品としての情報なし      |
| 引火点           | 製品としての情報なし      |
| 自然発火点         | 製品としての情報なし      |
| 分解温度          | 製品としての情報なし      |
| pH            | 製品としての情報なし      |
| 動粘性率          | 製品としての情報なし      |
| 溶解度           | 水に不溶            |
| 蒸気圧           | 製品としての情報なし      |
| 密度及び／又は相対密度   | 製品としての情報なし      |
| 相対ガス密度        | 製品としての情報なし      |
| 粒子特性          | 製品としての情報なし      |
| その他溶媒         | 熱キシレン等の芳香族溶媒に可溶 |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                       |
|------------|---------------------------------------|
| 反応性        | 通常の手扱い条件下では安定である。                     |
| 化学的安定性     | 通常の手扱い条件下では安定である。                     |
| 危険有害反応可能性  | 通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。              |
| 避けるべき条件    | 高温下、急激な温度変化                           |
| 混触危険物質     | 製品としての情報なし                            |
| 危険有害な分解生成物 | 燃焼により、一酸化炭素(CO)、NOX等の有害ガス等が発生する恐れがある。 |

## 11. 有害性情報

|                     |  |
|---------------------|--|
| 急性毒性（経口）            | 製品としての情報なし   |
| 急性毒性（経皮）            | 製品としての情報なし   |
| 急性毒性（吸入）            | 製品としての情報なし   |
| 皮膚腐食性／刺激性           | 製品としての情報なし   |
| 眼に対する重篤な損傷性／        | 製品としての情報なし   |
| 眼刺激性                |  |
| 呼吸器感受性              | 製品としての情報なし   |
| 皮膚感受性               | 製品としての情報なし   |
| 生殖細胞変異原性            | 製品としての情報なし   |
| 発がん性                | ポリプロピレン・ポリエチレンとして、IARCの発がん性区分でグループ3に分類されている。<br>但し、ヒトに対する発がん性について分類できない。 |
| 生殖毒性                | 製品としての情報なし   |
| 特定標的臓器毒性<br>（単回ばく露） | 製品としての情報なし   |
| 特定標的臓器毒性<br>（反復ばく露） | 製品としての情報なし   |
| 誤えん有害性              | 製品としての情報なし   |

## 12. 環境影響情報

|                    |   |
|--------------------|---|
| 生態毒性               |   |
| 水生環境有害性<br>（短期／急性） | 製品としての情報なし                                  |
| 水生環境有害性<br>（長期／慢性） | 製品としての情報なし                                  |
|                    | 但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での投棄、放出はしない。 |
| 残留性・分解性            | ポリプロピレン、ポリエチレンは環境中で長期間分解しない。                |
| 生体蓄積性              | 製品としての情報なし                                  |
| 土壌中の移動性            | 製品としての情報なし                                  |
| オゾン層への有害性          | 製品としての情報なし                                  |

## 13. 廃棄上の注意

|          |   |
|----------|---|
| 残余廃棄物    | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。<br>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上<br>処理を委託する。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従っ<br>て適切な処分を行う。                                |

## 14. 輸送上の注意

|   |  |
|---|--|
| 国際規制  |  |
| 国連番号  | 該当しない  |
| 海洋汚染物質  | 該当しない  |
| MARPOL73/78付属書Ⅱおよ<br>びIBCコードによるばら積<br>み輸送海洋汚染物質 | 該当しない  |
| 航空規制情報  | 該当しない  |
| 国内規制  |  |
| 海上規制情報  | 該当しない  |
| 航空規制情報  | 該当しない  |
| 陸上規制情報  | 消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載<br>方法により輸送する。     |
| 緊急時応急処置指針番号                                     | なし   |
| その他   | 水濡れ、異物混入及び荷崩れ防止措置を行う。<br>包装を傷付けたり、破袋させるような乱暴な取扱いは厳禁。 |

## 15. 適用法令

|                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 労働安全衛生法                  | 「3. 組成及び成分情報」に記載。    |
| 化学物質排出把握管理<br>促進法（PRTR法） | 該当しない                |
| 毒物及び劇物取締法                | 該当しない                |
| 消防法                      | 指定可燃物（合成樹脂類 3,000kg） |
| 化審法                      | 該当しない                |

## 16. その他の情報

|      |  |
|------|--|
| 参考文献 | JIS Z 7252：2019「GHSに基づく化学品の分類方法」<br>JIS Z 7253：2019「GHSに基づく化学品の有害性情報の伝達方法—ラベル、<br>作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」<br>国連GHS文書 改訂8版（2019年）<br>独立行政法人 製品評価技術機構のGHS分類結果データベース<br>化審法データベース（J-CHECK）<br>原材料メーカーの安全データシート（SDS）                       |
| その他  | 本SDSは、JIS Z 7253：2019に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、<br>有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分でない可能性があります<br>ますので、取扱にはご注意ください。<br>本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて<br>変更して下さい。<br>また、注意事項等は通常の取扱を対象としたものですので、特別な取扱いを<br>する場合には用途・条件に適した安全策を実施の上、お取り扱い願います。 |